

官版

佛

蘭

西

律

書

刑

法

三

東 京 圖 書 館

新 門 一 一

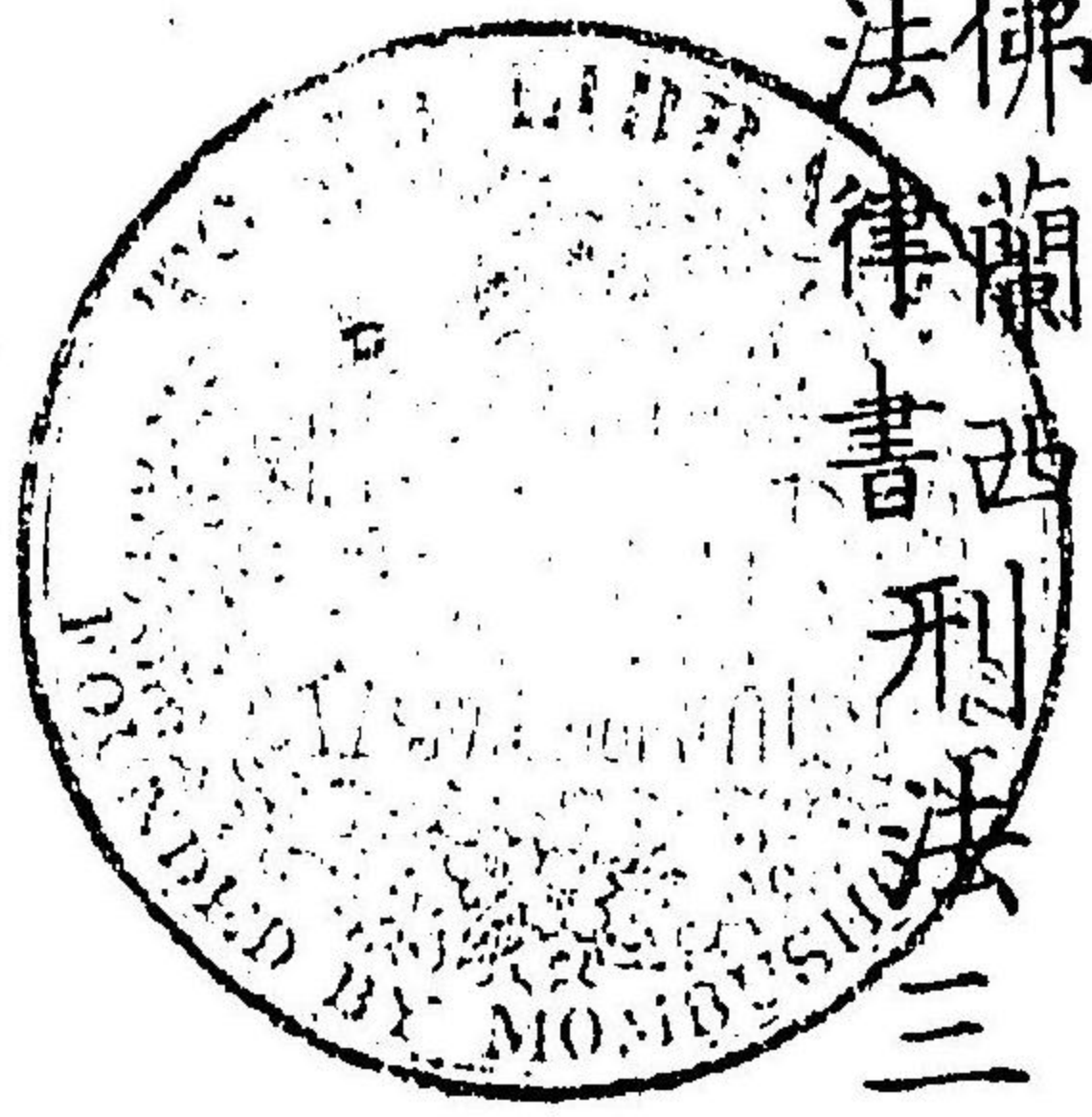
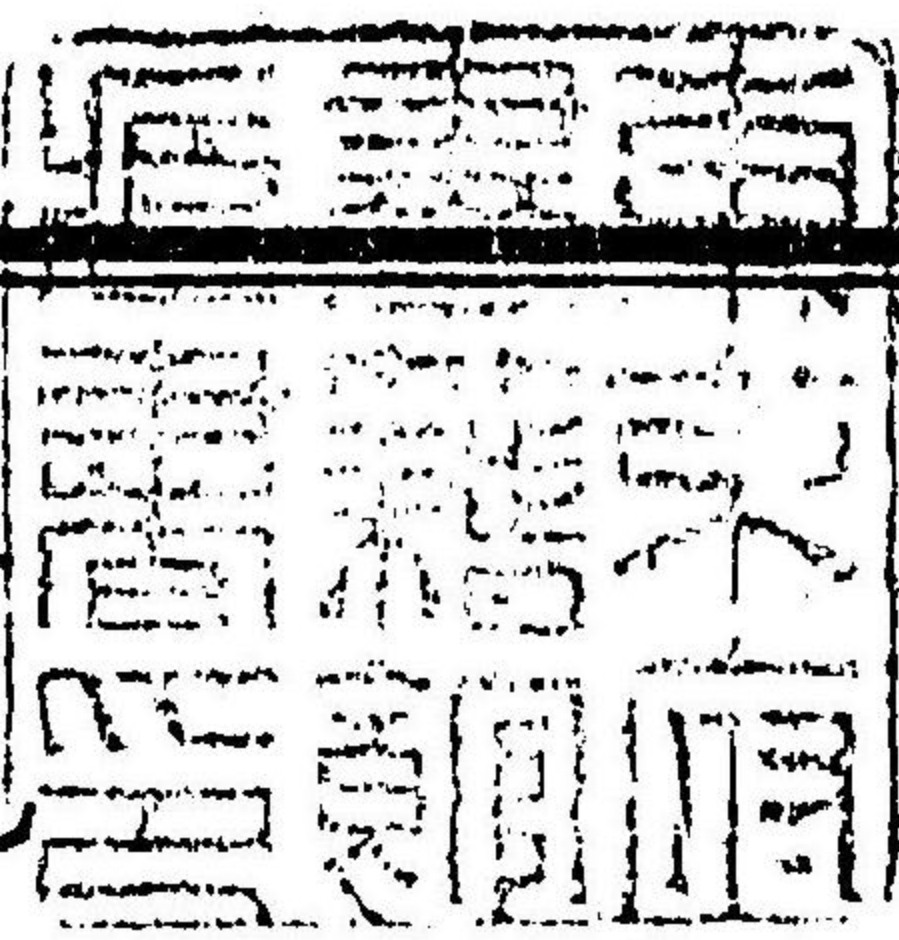
部 一 一

類 一 一

CF2
3
07

共
五
本

CF2
3
07



佛蘭西
法律書
刑法三

明治九年文部省交付

中博士箕作麟祥口譯

○第三款 說教ノ僧徒ノ其職務ヲ行

フニ於テ國ノ靜謐ヲ妨クル事

○第一節 民生ヲ害スル註誤

第百九十九條 說教ノ僧徒ニ於テ婚姻ノ證書

ヲ民生ノ事ニ管スル官吏ヨリ預メ交收シテ

婚姻ヲ許ス可キノ證ヲ得ス其婚姻ノ教禮ヲ

佛蘭西刑法三

第三篇第一章第三節第一

大學南交

行ヒシ者ノ初メテ此註誤ノ罪ヲ犯シタル時ハ十六フランクヨリ少カラス百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第二百條 前條ニ記シタル註誤ノ罪ヲ再犯シタル説教ノ僧徒ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ
三犯ノ時ニ於テハ囚獄ノ刑ニ處セラル可シ

○第二節 説教ノ僧徒ノ公然ノ説法ニ於テ官署ニ對シ誹謗及ヒ罵詈等ヲ為ス事

第二百一條 説教ノ僧徒ノ其職務ヲ行フニ當リ又ハ公然ノ集會ニ於テ政府法律帝命及ヒ其他官署ノ所為等ヲ誹謗シ又ハ罵詈スルノ言詞ヲ述ヘシ者ハ三月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百二條 若シ其言詞中ニ於テ直ニ法律又ハ官署ノ所為等ヲ抗拒スルノ事ヲ挑唆スルノ意ヲ含ム時及ヒ士民ノ一部ヲシテ他ノ一部ニ對シ拒敵ヲ為シメ又ハ互ニ兵器ヲ弄セシム可キノ意ヲ含ム時等ハ假令ヒ其兇行ノ

現ニ行ハル、ニ至ラスト雖其言詞ヲ述シ
僧徒ニ於テ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ若シ又
現ニ國法又ハ官署ノ所為等ヲ抗拒セシムル
事アルニ於テハ追放ノ刑ニ處セラル可シ但
シ叛逆一揆等ヲ起スノ罪アル時ハ後條ニ記
スル所ニ循フ可シ

第二十三條 其説教ノ僧徒ノ言詞ニ因リ叛逆
及ヒ一揆等ノ起リタル時ニ於テ其犯人中ノ
一人又ハ數人ノ追放以上ノ刑ニ處セラル可

キ事情アル時ハ其僧徒ヲ同刑ニ處ス可シ

○第三節 説教ノ僧徒ノ公然ニ著
シタル書ニ於テ官署ヲ誹謗シ
及ヒ罵詈スル事

第二百四條 説教ノ僧徒ノ説教ノ事ニツキ政
府及ヒ官署ノ所為等ニ對シ誹謗及ヒ罵詈等
ヲ為スニ管スル書ヲ著ス時ハ追放ノ刑ニ處
セラル可シ

第二百五條 前條ニ記シタル書中ニ於テ直チニ
國法及ヒ官署ノ所為等ヲ抗拒スルノ事ヲ挑

唆スルノ意ヲ含ム時及ヒ士民ノ一部ヲシテ
他ノ一部ニ對シ拒敵ヲ為シメ又ハ互ニ兵器
ヲ弄セシム可キ等ノ意アル時等ハ其僧徒ニ
於テ囚獄ノ刑ニ處セラル可シ

第二百六條 其說教ノ僧徒ノ著シタル書ニ因
リ叛逆及ヒ一揆等ノ起リシ時ニ於テ其犯人
中ノ一人又ハ數人ノ流刑以上ノ刑ニ處セラ
ル可キ事情アルニ於テハ其僧徒ヲ同刑ニ處
ス可シ

○第四節 說教ノ僧徒ノ法教ノ事

ニツキ外國政府ト交通スル事

第二百七條 說教ノ僧徒ニ於テ法教ノ事ヲ掌
ル執政ニ預メ告知ヲ為シ其免許ヲ得スレテ
法教ノ事ニツキ外國政府ト交通セシ者ハ其
所行ノミヲ以テ百フランクヨリ少カラス五
百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受
ケ且一月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル
時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百八條 前條ニ記シタル交通ノ事ト同時
又ハ相繼テ法律及ヒ帝命等ノ定規ニ背キタ

ル他ノ罪犯ヲ行ヒシ時ハ其犯人ニ於テ追放ノ刑ニ處セラル可シ但シ其罪犯ノ追放以上ノ刑ヲ以テ處ス可キ時ハ亦追放以上ノ刑ニ處ス可シ

○第四款 官署ノ權ニ抗スル事官署ノ權ニ背ク事及ヒ其他官署ノ權ニ對シタル罪

○第一節 官署ノ命ニ抗スル事

第二百九條 裁判所ノ命ヲ傳フル官吏田野森林等ノ看守人政府ノ兵隊租稅收納ノ官吏犯

人ヲ逮捕スル官吏互市海口ノ稅官訴訟ノ品物ヲ管守スル官吏政事裁判等ノ事務ニ管スル官吏等ノ法律公命裁判所ノ命等ヲ行フ時ニ於テ其諸般ノ官吏へ對シ襲撃ヲ為シ及ヒ暴行ノ所為ヲ以テ抗拒ヲ為タル者ハ其時ノ景況ニ從ヒ官署ノ命ニ抗スルノ輕罪又ハ官署ノ命ニ抗スルノ重罪アリトス
第二百十條 若シ兵器ヲ弄シタル者ノ二十人以上ニシテ前條ノ罪ヲ犯セシ時ハ其犯人ニ於テ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ但シ兵器ヲ

弄セサル時ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セララル可シ

第二百十一條 若シ兵器ヲ弄シタル者ノ三人ヨリ二十人ニ至ルノ黨衆ヲ以テ官署ノ命ニ抗スルノ罪ヲ犯セシ時ハ其犯人ニ於テ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セララル可シ但シ兵器ヲ弄セサル時ハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セララル可シ

第二百十二條 兵器ヲ弄シタル者ノ一人又ハ

二人ニシテ官署ノ命ニ抗スルノ罪ヲ犯シタル時ハ其犯人ニ於テ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セララル可シ但シ兵器ヲ弄セサル時ハ六月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セララル可シ

第二百十三條 黨衆ヲ為シテ官署ノ命ニ抗シタル時其黨衆中ノ職務ヲ行ハサル者ニ於テ官吏ノ叱責ニ因リ直ニ其黨ヲ離脱シタル時又ハ官吏ノ叱責ノ後ト雖モ官署ノ命ニ抗シ

タル場所外ニ於テ抗拒スル事ナク且兵器ヲ
 弄スル事カク逮捕ヲ受ケレ時等ハ其犯人ヲ
 第百條ニ記レタル規則ヲ以テ處置ス可シ
 第二百十四條 重罪犯及ヒ輕罪犯等ノ黨衆ニ
 於テ其中ノ二人以上分明ナル兵器ヲ弄レタ
 ル時ハ其黨衆ヲ總稱シテ兵器ヲ弄レタル黨
 衆ト云

第二百十五條 兵器ヲ弄シダリト稱ス可ラサ
 ル黨衆中ニ加ハリ暗藏ノ兵器ヲ弄レタル者
 ハ兵器ヲ弄レタル黨衆中ニ加ハリレ時ト同

刑ヲ受ク可シ

第二百十六條 官署ノ命ニ抗スル所行ヲ為シ
 タル時ニ其犯ノ重罪及ヒ輕罪ノ首謀ニ於
 テ若シ其官署ノ命ニ抗スルノミノ罪ヨリ更
 ニ重罪ヲ犯シタル時ハ其罪ニツキ行ク可キ
 刑ニ處セラレ可シ

第二百十七條 千八百十九年第五月十七日廢ス

第二百十八條 官署ノ命ニ抗セシ罪ニツキ禁
 錮ノ刑ノ言渡ヲ受ケレ犯人ハ其上十六「アラ
 ンクヨリ少カラズ二百「フラン迄ヨリ多カラ

ナル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第二百十九條

第一 製造所ニ於テ使役スル工丁及ヒ雇工

第二 貧院ニ入リタル者

第三 被告ノ囚徒又ハ刑ノ言渡ヲ受ケシ囚徒

此等ノ者ノ或ハ兵器ヲ弄シ或ハ兵器ヲ弄セシニ非スト雖モ官署及ヒ取締ノ官吏又ハ政府ノ兵隊等ハ對シ暴行及ヒ脅迫等ヲ為シタ

ル黨衆ハ官署ノ命ニ抗シタル黨衆ナリト為シテ罰ス可シ

第二節二十條 既ニ他ノ輕罪及ヒ重罪等ヲ犯

シタルノ訴訟ヲ受ケシ囚徒又ハ刑ノ言渡ヲ受シ囚徒等ノ後ニ於テ官署ノ命ニ抗スルノ罪ヲ犯スニ因リ之レヲ刑ニ處スルノ法如左
既犯ノ重罪犯及ヒ輕罪犯等ニ因リ死刑又ハ無期ノ刑等ニ非サル刑ヲ受ケシ犯人ハ其刑期ノ終リシ後ニ於テ直チニ官署ニ抗スルノ罪ヲ犯シタル刑ニ處セララル可シ

其他ノ犯人ハ上等裁判所ニ於テ罪ノ赦宥ヲ受ケ又ハ赦宥ヲ受ケテ送致スルノ言渡ヲ得タル後直チニ官署ノ命ニ抗スルノ罪ヲ犯シタル刑ニ處セラル可シ

第二百二十一條 官署ノ命ニ抗シタル首謀及ヒ官署ノ命ニ抗スルノ所行ヲ挑唆シタル者等ハ其刑期ノ終リシ後猶五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間政府ノ別段ナル監察ヲ受ク可シ

○第二節 官署ノ權及ヒ政府ノ兵

務等ニ管スル者へ對シ不敬又ハ暴行等ヲ為ス事

第二百二十二條

千八百六十三年第五月十三日如左換フ 政事又

ハ裁判等ニ管スル官吏ノ一人又ハ數人及ヒ陪審ノ一人又ハ數人等ニ於テ其職務上ノ事及ヒ其職務ヲ行フ時等ニ於テ陰ニ言語、文書又ハ畫圖等ヲ以テ己ノ名望、體面等ヲ辱カシム可キ不敬ヲ受ケシ時ハ其不敬ヲ為タル者ニ於テ十五日ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

若シ其不敬ノ言語ヲ裁判所ニ於テ眾人ノ眼前ニ唱ヘシ者ハ其犯人ニ於テ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百二十三條

千八百六十三年第五月十三日如左換フ 官吏及

ト陪審等ヘ對シ其職務上ノ事及ヒ其職務ヲ行フ時等ニ於テ體勢及ヒ脅迫等ヲ以テ不敬ヲ待ヒシ者ハ一月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ若シ裁判所ニ於テ眾人ノ眼前ニ其不敬ヲ行ヒシ

者ハ其犯人ニ於テ一月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百二十四條

千八百六十三年第五月十三日如左換フ 言語體

勢及ヒ脅迫等ヲ以テ裁判所ノ命ヲ傳フル官吏又ハ政府ノ兵事ニ管スル官吏及ヒ公務ノ任ヲ受ケシ者等ヘ對シ其職務上ノ事及ヒ其職務ヲ行フ時等ニ當リ不敬ヲ行ヒシ者ハ六日ヨリ少カラス一月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨリ少カラス二百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言

渡ヲ受ケ或ハ此刑中ノ一箇ノミノ言渡ヲ受
ク可シ

第二百二十五條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ政府ノ

兵ヲ指揮スル者へ對シ前條ニ記シタル不敬
ヲ行ヒシ時ハ其犯人ニ於テ十五日ヨリ少カ
ラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
セラレ且十六フランクヨリ少カノス五百フ
ランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可
シ

第二百二十六條

第二百二十二條 第二百二十

三條 第二百二十五條等ニ開載シタル場合ニ
於テハ其犯人ニ於テ禁錮ノ刑ヲ受ケシ上更
ニ不敬ヲ加ヘシ者へ書面ヲ用ヒ又ハ刑ヲ受
ケシ後始テ相會シタル時ニ於テ其罪ヲ陳謝
ス可シ但シ其犯人ノ禁錮ノ刑ニ處セラレハ
ノ期限ハ其罪ヲ陳謝セシ日ヨリシテ算フ可
シ

第二百二十七條

第二百二十四條ニ記シタル

場合ニ於テハ其犯人ニ於テ前條ニ載ル所ニ
均シク罰金ノ外更ニ其罪ヲ陳謝ス可キノ言

渡ヲ受ク可シ若シ其犯人ニ於テ其罪ヲ陳謝
スルコトヲ遅延シ又ハ肯セサル等ノ時ハ之ヲ
獄ニ繫ク可シ

第二百二十八條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ兵器ヲ

弄セス且毀傷ヲ為ス事ナシト雖モ裁判及ヒ
政務等ニ管スル官吏ノ其職務上ノ事及ヒ其
職務ヲ行フ時等ニ於テ之ヲ毆撃セシ者及ヒ
其他同一ノ景狀ニ於テ其官吏へ對シ暴行ノ
所為ヲ為タル者等ハ二年ヨリ少カラス五年
ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可

シ

若シ又裁判所ニ於テ衆人ノ眼前ニ其暴行ノ
所為ヲ為タル者ハ至重ノ禁錮ノ刑ニ處セラ
ル可シ

又此二箇ノ場合ニ於テハ其犯人ニ於テ其刑
ヲ受ケシ日ヨリシテ五年ヨリ少カラス十年
ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル
民權ヲ行フノ禁ヲ受ケ且同一ノ期限間政府
ノ監察ヲ受ク可シ

第二百二十九條

前條ニ記シタル二箇ノ場合

ニ於テハ其犯人ニ五年ヨリ少カラス十年ヨ
 リ多カラサル時間其毆撃シタル官吏ノ所在
 ノ地ノ周圍ニ三リヤメートル一三リヤメ
 ートルニシテ一メートルノ所ニ近ツク可カ
 ハ大凡我三尺三寸ニ當ルノ所ニ近ツク可カ
 ラサルノ言渡ヲ為ス可シ
 此規則ハ犯人ノ其刑ヲ受ケシ日ヨリシテ施
 行ス可シ若シ犯人ニ於テ其定期ノ終ラサル
 中此命ニ背ク時ハ追放ノ刑ニ處セラル可シ
 第二百三十條 千八百六十三年第五 第二百二
 十八條ニ記シタル種類ノ暴行ノ所為ヲ裁判

所ノ命ヲ傳フル官吏又ハ政府ノ兵事ニ管ス
 ル者及ヒ公務ノ任ヲ受ケシ者等へ對シ其職
 務上ノ事及ヒ其職務ヲ行フ時等ニ於テ犯セ
 シ時ハ其犯人ニ於テ一月ヨリ少カラス三年
 ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且
 十六フランシクヨリ少カラス五百フランシクヨ
 リ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
 第二百三十一條 若シ第二百二十八條及ヒ第
 二百三十條等ニ開載スル所ノ官吏へ對シ犯
 シタル暴行ニ因リ其官吏ヲ斫傷折傷及ヒ疾

病ニ罹ラレムル等ノ原由ヲ為ス時ハ其犯人
ヲ徒刑場内ニ於テ驅役スルノ刑ニ處ス可シ
若シ其暴行ノ其官吏ヲシテ四十日間ニ死セ
シムルノ原由ヲ為ス時ハ其犯人ヲ無期ノ徒
刑ニ處ス可シ

第二百三十二條 其暴行ニ因リ斫傷折傷及ヒ
疾病等ヲ致スノ原由ヲ為サザル時ト雖^一預
メ害ヲ為ントスルノ意ヲ以テ其官吏ヲ毆擊
セシ時ハ其犯人ヲ徒刑場内ニ於テ驅役スル
刑ニ處ス可シ

第二百三十三條 第二百二十八條及ヒ第二百
三十條等ニ開載シタル長官又ハ官吏等ノ其
職務上ノ事又ハ其職務ヲ行フ時等ニ於テ殺
ス可キノ意ヲ以テ之ヲ毆擊シ又ハ毀傷シタ
ル者ハ死刑ニ處ス可シ

○第三節 當然ニ為ス可キ職務ヲ
肯ンセサル事

第二百三十四條 政府ノ兵ヲ指揮スル者又ハ
其士官及ヒ下等士官等ニ於テ文員ノ官吏ヨ
リ當然ノ求需ヲ受シ後自己ノ指揮スル兵ヲ

使令スル事ヲ肯ンセサル者ハ一月ヨリ少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ但シ此條ニ記シタル規則ト第十條ニ記シタル償還ノ規則ト相抵觸スル事ナカル可シ

第二百三十五條 募兵ニ管スル刑法及ヒ其他ノ規則等ハ舊ニ依テ循守ス可シ

第二百三十六條 保證人及ヒ陪審等ニ於テ詐偽ノ分明ナル辭弊ヲ稱シ裁判所へ出張セサル時ハ其出張セサルニ因リ言渡ヲ受ク可キ

罰金ノ外六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

○第四節 囚徒ノ逃亡スル事及ヒ犯人ヲ隱匿スル事

第二百三十七條 囚徒ヲ伴行シ及ヒ押送シ又ハ看守スル等ノ事ニ管スル逮捕人及ヒ番兵又ハ護送兵及ヒ守備兵等ノ督帥又ハ下等士官及ヒ門監等ノ囚徒ヲ逃亡セシムル者ハ後條ノ刑ニ處セラル可シ

第二百三十八條 千八百六十三年第五月十三日如左換百 其看守

及伴行等ノ任ヲ受ケシ者ノ懈怠ニ因テ輕罪
 又ハ戮辱ノ刑ヲ受ク可キ重罪等ヲ犯セシ者
 及ヒ既ニ其罪ヲ言渡サレシ者等ヲ逃亡セシ
 メ其囚徒ノ戰鬥ニ於テ擒獲シタル者タル時
 ハ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時
 間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ
 若シ其囚徒ノ逃亡ヲ知テ捕獲セサル時ハ六
 月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁
 錮ノ刑ニ處セラル可シ
 囚徒ノ看守又ハ伴行等ノ任ヲ受ケサル者ノ

其囚徒ヲシテ逃亡ヲ得セシメ又ハ逃亡ヲ容
 易ニ為シメタル時ハ其犯人ニ於テ六日ヨリ
 少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑
 ニ處セラル可シ

第二百三十九條

其看守又ハ伴行等ノ任ヲ受

ケシ者ノ懈怠ニ因テ有期ノ施體ノ刑ニ處ス
 可キ重罪ヲ犯セシ囚徒及ヒ其刑ヲ受ク可キ
 被告ノ囚徒又ハ此重罪ノ為メ既ニ其刑ニ處
 セラレシ囚徒等ヲ逃亡セシメタル時ハ二月
 ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮

ノ刑ニ處セラル可シ若シ其逃亡ヲ知テ捕獲セサル時ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可シ

此囚徒ノ看守又ハ伴行等ノ任ヲ受サル者ノ囚徒ヲシテ逃亡ヲ得セシメ又ハ容易ニ為シメシ時ハ三月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百四十條 其看守又ハ伴行等ノ任ヲ受ケシ者ノ懈怠ニ因テ死刑及ヒ無期ノ刑等ニ處ス可キ重罪ヲ犯セシ囚徒及ヒ其刑ヲ受ク可

キ被告ノ囚徒又ハ既ニ此刑ニ處セラレタル囚徒等ヲ逃亡セシメタル時ハ一年ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ若シ其逃亡ヲ知テ捕獲セサル時ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

此囚徒ノ看守又ハ伴行等ノ任ヲ受サル者ノ囚徒ヲシテ逃亡ヲ得セシメ又ハ容易ニ為シメシ時ハ一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百四十一條 千八百六十三年第五
月十三日如左換フ 囚徒ノ

暴行ヲ以テ逃亡シ或ハ獄舎ヲ毀テ逃亡シタル時其逃亡ヲ為スニ使用スル器具ヲ貸助ケタル者ハ左ノ刑ニ處セララル可シ
 若シ逃亡シタル囚徒ノ第二百三十八條ニ記シタル場合ニ於テハ其器具ヲ貸助ケタル者ヲ三月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時
 間禁錮ノ刑ニ處シ第二百三十九條ニ記シタル場合ニ於テハ一年ヨリ少カラス四年ヨリ多カラサル時
 間禁錮ノ刑ニ處シ第二百四十條ニ記シタル場合ニ於テハ二年ヨリ少カラ

ス五年ヨリ多カラサル時
 間禁錮ノ刑ニ處シ且五十フランクヨリ少カラス二千フランクヨリ多カラサル罰金ヲ言渡ス可シ
 但シ第二百四十條ニ記シタル場合ニ於テハ其器具ヲ貸助ケル者ニ於テ其刑ニ處セラレシ日ヨリシテ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時
 間第四十二條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ク可シ

第二百四十二條 前文ニ記シタル何レノ場合ニ於テモ其囚徒ノ看守人及ヒ獄監等ハ贈遺

ヲ為タル者又ハ看守人及獄監ト共ニ囚徒ノ逃亡ヲ知テ捕獲セス囚徒ヲシテ逃亡ヲ得セシメ及ヒ容易ニ為シメル者等ハ其看守人及ヒ獄監等ト同刑ニ處セラル可シ

第二百四十三條 囚徒ノ獄舎ヲ毀テ又ハ暴行ヲ為シテ逃亡セシ時ニ於テ若シ兵器ヲ貸與フル事ニ加ハリシ看守人及ヒ伴行人等ハ無期ノ徒刑ニ處セラレ其他ノ者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第二百四十四條 囚徒ノ逃亡ヲ知テ捕獲セサ

ル者等ハ其囚徒ニ償還ノ需メヲ為ス可キ權アル者ヘ對シ相糾通シテ其償額ヲ追還ス可キ言渡ヲ受ク可シ

第二百四十五條 獄舎ヲ毀テ又ハ暴行ヲ為シテ逃亡シ及ヒ逃亡セント為シタル囚徒ハ其所行ノミヲ以テ六月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ノ言渡ヲ受ク可シ且其囚徒ハ前犯ノ重輕罪ニツキ處セラレタル刑期ノ終リシ後ニ於テ直ニ此刑ヲ受ケ又ハ其前犯ノ輕重罪ノ赦宥及ヒ送致等ノ裁判

言渡ヲ受ケシ後ニ於テ直ニ此刑ヲ受ク可シ
但シ此規則ト其囚徒ノ暴行ヲ為シ逃亡シタ
ル時ニ於テ犯シタル他ノ重罪ノ為メ更ニ重
刑ニ處スヘキ規則ト相抵觸スル事ナカル可
シ

第二百四十六條 囚徒ノ逃亡ヲ助ケ又ハ囚徒
ノ逃亡セント為ス企ヲ助ケタルニ因リ六月
以上ノ時間禁錮ノ刑ニ處セラレシ者ハ其上
五年ヨリ少カラヌ十年ヨリ多カラサル時間
政府ノ別段ナル監察ヲ受ク可シ

第二百四十七條 若シ其囚徒ノ逃亡ノ時ヨリ
四月内ニ於テ其逃亡後ニ更犯ノ罪ナク逮捕
ヲ受シ時其伴行及ヒ看守等ノ者ノ前ニ載セ
タル懈怠ノ場合ノミニ於テハ禁錮ノ刑ヲ停
止ス可シ

第二百四十八條 施體ノ刑ニ處セラル可キ重
罪ヲ犯セシトヲ知り其犯人ヲ隱匿シ及ヒ隱
匿セシメシ者ハ三月ヨリ少カラヌ二年ヨリ
多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ
隱匿シタル者ニ於テ犯人ノ尊屬ノ親及ヒ卑

屬ノ親子及ヒ孫元孫曾孫等ノ類ヲ云又ハ夫婦離姻シタル者ニ於テミ

兄弟姉妹又ハ同級ノ親兄弟ト姉妹ト姪女トノ類ヲ云等

ナル時ハ前條ノ刑ヲ用フ可ラス

○第五節 緘印ヲ破毀スル事及ヒ

官署ニアル證書類ヲ攘奪スル

事

第二百四十九條 政府ノ命及ヒ何事ニ因ラス

裁判所ヨリ下シタル命等ヲ以テ蓋印シタル

緘印ノ破毀ヲ得タル時其看守人ニ於テ懈怠

ノ罪ノミナル時ハ六日ヨリ少カラス六月ヨ

リ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百五十條 若シ緘印ヲ破毀シテ死刑無期

ノ徒刑及ヒ流刑等ニ處セラル可キ罪ヲ犯シ

タル者及ヒ其犯ヲ為タル被告人又ハ既ニ其

刑ノ言渡ヲ受タル犯人等ノ書類或ハ證票等

ノ攘奪ヲ受シ時ハ其懈怠ヲ為タル看守人ニ

於テ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル

時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百五十一條 千八百六十三年第五前條ニ

記シタル書類及ヒ證票等ニ蓋印シタル緘印

ヲ故サラニ破毀シ及ヒ破毀セント為タル者
 又ハ其緘印ヲ破毀シ及ヒ破毀セシト為タル者
 ニ加リタル者等ハ一年ヨリ少カラス三年ヨ
 リ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ
 看守人ニ於テ自ラ其緘印ヲ破毀シ及ヒ破毀
 スル事ニ加リタル時ハ二年ヨリ少カラス五
 年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル
 可シ
 前ノ二箇ノ場合ニ於テ其犯人ハ五十フラン
 クヨリ少カラス二千フランクヨリ多カラサ

ル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
 又其犯人ハ其刑ヲ受シ日ヨリシテ五年ヨリ
 少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二
 條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ク且五年
 ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間政府
 ノ監察ヲ受ク可シ

第二百五十二條 前條ニ記セシ以外ニ於テ緘
 印ヲ破毀シタル犯人ハ六月ヨリ少カラス二
 年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル
 可シ但シ其看守人ノ其犯人タル時ハ二年ヨ

リ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セララル可シ

第二百五十三條 緘印ヲ破毀シテ行フタル竊盜ハ總テ物ヲ破壞シテ行フタル竊盜ト同刑ニ處セララル可シ

第二百五十四條 證書類ヲ藏スル官署又ハ裁判所ノ書記房又ハ公然ノ書類ヲ藏スル場所等ニ斯ヘ及ヒ政府ヨリ任ヲ受ケシ看守人ニ警守セシメタル犯罪ノ證書、犯罪訴訟ノ證書及ヒ其他ノ證書類、簿冊、證票等ノ竊取、亡失及

ヒ攘奪等ヲ受ケシ事アル時ハ其懈怠セシ書記官、書類ヲ管守スル者及ヒハテール又ハ其他ノ看守人等ニ於テ三月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラス三百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第二百五十五條 前條ニ記シタル所ノ竊取、亡失及ヒ攘奪等ノ罪ヲ犯シタル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セララル可シ
若シ看守人ニ於テ自ラ其罪ヲ犯シタル時ハ

有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第二百五十六條 緘印ノ破毀又ハ書類ノ竊取
亡失及ヒ攘奪等ノ事ニツキ人ニ對シテ暴行
ヲ加フルノ罪アル時ハ其犯人ニ於テ有期ノ
徒刑ニ處セラル可シ但シ此規則ト其暴行及
ヒ其暴行ニ附加シテ犯シタル重罪等ノ種類
ニ因リ有期ノ徒刑以上ノ刑ニ處ス可キ規則
ト相抵觸スル事ナカル可シ

○第六節 永存ノ建造物ヲ破壊ス
ル事

第二百五十七條 公然ノ有益又ハ觀美トナス
可キ為メ官署ニ於テ造立シ及ヒ官署ノ允許
ヲ得テ造立シタル永存ノ建造物及ヒ立像又
ハ其他ノ物等ヲ破壊シ及ヒ毀損シタル者ハ
一月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間
禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カ
ラス五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言
渡ヲ受ク可シ

○第七節 官職ヲ僭スル事

第二百五十八條 其官ニ居ラスシテ文武ノ公

務ニ干涉シ及ヒ其公務ニ管スル所行ヲ為タル者ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラスル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ但シ此規則ト官職ヲ僭シテ犯シタル所行ニ贗造偽造ノ情状アル時ハ其罪ニ相當ナル刑ニ處ス可キ規則ト相抵觸スル事ナカル可シ

第二百五十九條

千八百五十八年第五已ノ品月二十八日如左換フ

位ニアラサル官服戎服又ハ勲功ヲ表スル裝飾等ヲ公然ニ佩用シ及ヒ穿用シタル者ハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁

錮ノ刑ニ處セラル可シ

名望ヲ得可キ為ノ相當ノ威權ナクシテ公然ニ其官名ヲ詭稱シ又ハ民生ノ證書ニ記シタル姓名ヲ更改シタル者ハ五百フランクヨリ少カラス一萬フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

如此官名ヲ詭稱シ及ヒ姓名ヲ更改シタル公正ノ證書及ヒ民生ノ證書等ノ欄外ニ裁判所ヨリ言渡シタル刑法ヲ記載ス可シ此條ニ記シタル何レノ場合ニ於テモ裁判言

渡シノ全文及ヒ摘撮シタル文等ヲ裁判所ノ
意ヲ以テ刻期刊行ノ書ニ登記シ之ヲ刊出ス
可シ但シ其費用ハ盡ク犯人ヲシテ償ハシム
可シ

○第八節 禮拜ヲ行フニ障礙ヲ為
ス事

第二百六十條 政府ノ允許ヲ得テ一人又ハ數
人ノ禮拜ヲ行ヒ及ヒ其禮拜ニ出班シ又ハ祭
禮ヲ行ヒ及ヒ休業ノ日ヲ保スル等ノ事ヲ強
劫脅迫等ヲ以テ阻害スル者及ヒ其一人又ハ

數人ノ工場商肆及ヒ倉庫ノ開閉又ハ産業ヲ
營シ及ヒ休止スル等ノ事ヲ強劫脅迫等ヲ以
テ阻害スル者等ハ其所行ノミヲ以テ十六ラ
ランクヨリ少カラス二百アラシクヨリ多カ
ラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且六日ヨリ少カラ
ス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セ
ラル可シ

第二百六十一條 寺院又ハ他ノ禮拜ヲ行ハン
ト為シ及ヒ現ニ行ヒシ場所等ニ於テ混亂及
ヒ障礙等ヲ為シ其禮拜ヲ行フノ妨ケヲ為シ

之ヲ遅延セシメ或ハ停止セシムル者ハ十六
 フランクヨリ少カラス三百フランクヨリ多
 カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且六日ヨリ少カ
 ラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
 セラル可シ

第二百六十二條 禮拜ヲ行ハント為スノ場所
 及ヒ現ニ禮拜ヲ行ヒシ場所等ニ於テ言詞或
 ハ體勢等ヲ以テ禮拜ヲ為ス可キ物へ不敬ヲ
 為ス者又ハ禮拜ニ管スル僧徒ノ其職務ヲ行
 フ時ニ於テ其僧徒ニ不敬ヲ加ヘシ者等八十

六フランクヨリ少カラス五百フランクヨリ
 多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且十五日ヨリ
 少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑
 ニ處セラル可シ

第二百六十三條 禮拜ニ管スル僧徒ノ其職務
 ヲ行フ時ニ於テ其僧徒ヲ毆撃セシ者ハ民權
 ヲ剥奪スルノ刑ニ處セラル可シ

第二百六十四條 此一節ニ開具スル所ノ規則
 ハ他ノ條ノ規則ニ於テ更ニ重刑ニ處ス可キ
 情状ナキ障礙不敬及ヒ強劫等ノニニ適當シ

テ用フ可シ

○第五款 兇行ヲ為ス者ノ集合及
無籍者乞丐者等ノ事

○第一節 兇行ヲ為ス者ノ集合ノ
事

第二百六十五條 人ノ身體及ヒ財產等へ對シ
兇行ヲ為ス者ノ群眾ヲ為スニ於テハ國ノ安
寧へ對シ犯シタル重罪ナリトス

第二百六十六條 兇行ヲ為ス者ヲシテ群眾セ
シメ又ハ其群眾セシ者及ヒ其首謀或ハ其指

揮者等ノ互ニ交通ヲ為シ又ハ兇行ヲ以テ得
タル利益ヲ算計シ及ヒ分配セント為ス契約
ヲ為タル等ノ事アル時ハ其所行ノミヲ以テ
國ノ安寧ヲ妨クル重罪ナリト云フ可シ

第二百六十七條 前條ニ記シタル重罪外ニ於
テ他ノ重罪ヲ同時又ハ相繼テ行フ事ナキ時
ハ其群眾中ノ首謀指揮者首魁下等指揮者等
ニ於テ有期ノ徒刑ニ處セラレ可シ

第二百六十八條 此群眾中ニ於テ或ル職務ヲ
行ヒシ者又ハ故サラニ自己ノ意ヲ以テ其群

衆ノ徒ヘ兵器彈藥及ヒ重罪ノ犯ヲ行フ可キ
器具及ヒ居所隱匿ノ地集會所等ヲ貸與ヘシ
者等ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラ
ル可シ

○第二節 無籍者ノ事

第二百六十九條 無籍ハ輕罪ナリトス

第二百七十條 無籍者トハ一定ノ居所及ヒ營

生ノ方法等ナク平常職業ヲ為サル者ヲ云フ

第二百七十一條 無籍者ニ於テ裁判所ノ命ヲ

以テ無籍人タルノ言渡ヲ受シ時ハ其言渡ヲ

受シ事ノミヲ以テ三月ヨリ少カラス六月ヨ

リ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

但シ其無籍者ハ其刑ヲ受シ後五年ヨリ少カ

ラス十年ヨリ多カラサル時間政府ヨリ監察

ヲ為シ送致ス可シ

然ル十六歳以下ノ無籍者ニ於テハ禁錮ノ刑

ニ處ス可カラス然ル無籍タルノ證アル時ハ

其證ノミヲ以テ全周二十歳ノ齡ニ至ル迄ノ

時間政府ヨリ監察ヲ為シテ送致ス可シ但シ

若シ二十歳ニ至ラサル以前ニ海陸軍ノ兵籍

第二百七十四條

乞丐者ヲ扶助スルカ為メ政
府ヨリ建設セシ貧院ノアル地ニ於テ食カ乞
フ者ハ三月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサ
ル時間禁錮ノ刑ニ處シ且其刑ノ期滿ノ後
至リ其乞者ヲ入レ置ク場所へ送徒ス可シ

第二百七十五條

貧院ヲ建設セサル地ニ於テ
食ヲ乞フヲ常慣トナス盛壯ノ者ハ一月ヨ
リ少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
刑ニ處セララル可シ

若シ其乞丐者ノ其居住スルカレトシヨ
ニ數

第二百七十六條

意ヲ合セシ外ニ於テ捕獲ヲ受ケシ時ハ六月
ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮
ノ刑ニ處セララル可シ

乞丐者ニ於テ縱令病者ト雖厄人ヲ脅迫

セシ者又ハ家屋ノ所有者及ヒ其家屋ニ

居住スル者等ハ許ヲ得スシテ其家屋又

ハ其家屋ニ属シタル藩圍内等ニ入シ者

創傷及ヒ疾病等ヲ偽ル者

夫婦父母及ヒ其若年ノ子瞽者及ヒ其指

導者等ヲ除クノ外連行シテ食ヲ乞フ者
此等ノ者ハ六月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

○無籍者及ヒ乞丐者等ニ適當スル規則

第二百七十七條

乞丐者及ヒ無籍者等ニ於テ何レノ方法
ヲ論セス其狀貌ヲ詭ハリテ捕獲ヲ受ケ
シ者
兵器ヲ用ヒ及ヒ兵器ヲ用ヒテ脅迫ヲ行
フ等ノ事ナシト雖モ兵器ヲ弄セシ者

鑢、搭竿又ハ其他攘奪及ヒ他ノ輕罪犯ヲ
行フ可キ器具或ハ家屋内へ潛入スルニ
適當ナル器具等ヲ持セシ者

此等ノ者ハ二年ヨリ少カラズ五年ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第二百七十八條

百フランク以上ノ價アル品
物及ヒ貨幣等ヲ所有シテ其來由ノ證ヲ陳述
セサル乞丐者無籍者等ハ第二百七十六條ニ
記シタル刑ニ處セラル可シ

第二百七十九條

千八百六十三年第五
月十三日如左換フ 乞丐者

及ヒ無籍者等ニ於テ何事ヲ論セス人ニ對シテ暴行ヲ為シ及ヒ為ントセシ者ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ但シ此規則ト其暴行ノ種類及ヒ景状等ニ因リ更ニ重刑ニ處ス可キ規則ト相抵觸スル事ナカル可シ若シ其暴行ヲ為シ及ヒ為ントシタル乞丐者無籍者等ノ第二百七十七條ニ記シタル景状ニ於テハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可シ

第二百八十條 廢

第二百八十一條 此書中ニ記シタル贋造及ヒ變造等ノ保身ノ證券路券兵士ノ道途ヲ限定スル路券等ヲ所有スル者ヘ對シ定メタル所ノ刑ヲ無籍者及ヒ乞丐者等ニ用フル時ハ其刑中ニ至重ノ刑ヲ用フヘシ

第二百八十二條 前數條ニ開載セシ刑ニ處セラレタル乞丐者ハ其刑期ノ終リシ後五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間政府ヨリ監察ヲ為シ送致ス可シ

○第六款 著述家及印刷工等ノ姓名ヲ以テ發行セシ書類肖像彫刻品等ヲ以テ犯シタル輕罪

第二百八十三條 著述家及印刷工等ノ姓名職業住所等ヲ真正ニ記サ、ル書類、日誌又ハ貼壁ノ告示、新聞紙、刺期刊行ノ書及ヒ其他ノ書等ヲ發行及ヒ分派シタル時ハ故ニ其發行及ヒ分派等ノ事ニ管セシ者ニ於テ其所行ノニ因リ六日ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セララル可シ

第二百八十四條

第一 唱販及ヒ貼壁ノ告示又ハ販賣分派等ヲ為ス者ニ於テ前條ニ記シタル書類ヲ附與セシ者ノ姓名出首セシ者

第二 刷工ノ姓名ヲ出首セシ者

第三 著述家ノ姓名ヲ出首セシ刷工

此等ノ者ハ誑誤ノ刑ヲ受クルノミトス

第二百八十五條 若シ活刷シタル書類ニ重罪ノ犯及ヒ輕罪ノ犯等ヲ挑唆セシムルノ文意ヲ含ム時ニ於テ其唱販及ヒ貼壁ノ告示又ハ

販賣分配等ヲ為ス者ノ其書類ヲ附與セシ者
 ノ姓名ヲ出首セサル時ハ其輕重ノ犯罪ヲ挑
 唆セシメタル者ト同刑ニ處セラレ可シ
 若シ其書類ヲ附與セシ者ノ姓名ヲ出首シタ
 ル時ハ其出首ノ者ニ於テ六日ヨリ少カラス
 三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處ス可
 キ罰ヲ受ルノミトス但シ其輕重ノ犯罪ヲ挑
 唆セシメタル者ト同刑ニ處ス可キ罰ヲ受ル
 者ハ其書類ヲ附與セシ者ノ姓名ヲ出首セサ
 ル者及ヒ刷工ノ分明ナル時ハ其刷工等ノ三

ニ限ル可シ

第二百八十六條 前條ニ記ルシタル何ノ場合
 ニ於テモ其書類ノ印本ハ沒收ス可シ

第二百八十七條 風俗ヲ亂ス可キ歌謠及ヒ冊
 子、畫圖、肖像等ヲ展示セシ者及ヒ分派セシ者
 等ハ十六フランクヨリ少カラス五百フラン
 クヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且一月
 ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮
 ノ刑ニ處セラレ其上其歌謠冊子、畫圖及ヒ他
 ノ輕罪ニ管セシ物等ヲ彫刻シタル印版及ヒ

印本等ヲ沒收セラル可シ

第二百八十八條

第一 前條ニ記シタル輕罪ニ管セシ物

ヲ附與シタル者ノ姓名ヲ出首シタル

唱販及ヒ販賣配分等ヲ為ス者

第二 刷工殿工等ノ姓名ヲ出首セシ者

第三 歌謠及ヒ冊子畫圖肖像等ヲ造リ

シ者又ハ其彫刻及ヒ活刷等ノ事ヲ任

シタル者等ノ姓名ヲ出首セシ刷工及

ヒ殿工

此等ノ者ハ前條ニ記シタル禁錮ノ刑及ヒ罰
金等ノ言渡ヲ受ルナリ唯註誤ノ刑ヲ受ル
ノミトス

第二百八十九條 此款ニ開載シタル何レノ場

合ニ於テモ冊子畫圖肖像等ヲ造リシ者ハ前

ニ記シタル各自ノ輕罪ノ刑中ニ於テ至重ノ

刑ニ處セラル可シ

○格別ナル規則

第二百九十條

千八百三十年第
十二月十日廢ス

○第七款 法律ニ於テ禁止シタル集

會

第二百九十一條 二十人以上ニ於テ法教、文學、政事等ノ事ヲ目的ト為シ毎日集會ヲ為シ及ヒ期日ヲ定メテ集會ヲ為ス等ノ事ハ政府ノ允許ヲ受ケ且官署ヨリ命シタル定規ヲ遵守スルノ外之ヲ為スコトヲ得可カラス

但シ其集會ヲ為ス家屋ニ居住スル者ハ此條ニ記シタル集會ノ員中ニ加ヘ算ス可ラス

第二百九十二條 前條ニ記セシ所ノ集會ハ政府ノ允許ヲ得ス又ハ其允許ヲ得タル後ト雖

凡官署ヨリ命シタル定規ヲ遵守セスシテ行フタル時之ヲ解散セシム可シ

其集會ノ頭目及ヒ指揮者支配人等ハ十六フランクヨリ少カラス二百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第二百九十三條 會話勸諭及ヒ天ニ請ヒ神ニ禱リ其他何レノ種類ヲ論セス言詞ヲ用ヒ書籍ヲ講シ又ハ貼壁ノ告示及ヒ其他何レノ種類ト雖凡書類ノ刊行分配等ヲ為シ其集會ニ於テ重罪ノ犯及ヒ輕罪ノ犯等ヲ挑唆スル事アル

時ハ其集會ノ頭目指揮者支配人等ニ於テ百
 フランクヨリ少カラス三百フランクヨリ多
 カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク且三月ヨリ少カ
 ラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
 セラル可シ但シ此規則ト其集會ノ各人ニ於
 テ重罪及ヒ輕罪等ノ犯ヲ挑唆シタルニ因リ
 更ニ重刑ニ處セラル可キ規則ト相抵觸スル
 事ナカル可ク且其重罪及ヒ輕罪等ノ犯ヲ挑
 唆シタル各人ノ刑ハ其集會ノ頭目指揮者支
 配人等ノ受ク可キ刑ヨリ以下ナル事ナカル

可シ

第二百九十四條 官署ノ允許ナクシテ家屋及
 ヒ房室等ノ全部又ハ一部等ヲ前條ニ記シタ
 ル集會ノ為メ又ハ禮拜ヲ行フ為メ等ニ使用
 スル事ヲ許諾セシ者ハ其集會ニ於テ縱令政
 府ノ允許ヲ受ケシモノト雖モ十六フランク
 ヨリ少カラス二百フランクヨリ多カラサル
 罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

大寫字生辻士革筆受

法律書刑法三

大學南本

佛蘭西刑法三終
法律書

